



大井町議会だより

2022.8.1 No.212

ひ た よ た ろ ん

第2回定例会…………… 2

6月7日から10日までの4日間

議会報告・意見交換会…………… 4

一般質問 ここが聞きたい（11人）… 6

町のこの人あの人…………… 12

話を聞くことが楽しい

心に寄り添うコミュニケーション

はら きみこ
原 仁子 さん



おい中央公園で遊ぶ子どもたち

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://www.town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第2回定例会

令和4年第2回定例会は6月7日から10日の4日間を会期として開催され、補正予算、契約等の審議をしました。また、行財政全般に及ぶ一般質問を11人が行い、町の考えを質しました。

今回の定例会においては、一般質問の通告時間を6分以内に反しながらも、引き続き町側の出席者を必要最低限とし、傍聴席も一定間隔での着座とするなど、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組みました。

要件の緩和や育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置等について、所要の改正を行うもの。

専決処分の承認

専決処分の承認について（大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例）（賛成全員）

＊税負担の公平性の確保及び低所得者層の税負担の軽減を図る観点から、地方税法施行令が改正されたことに伴い、国民健康保険税の課税限度額の改正を行ったため、専決処分の承認を求めるもの。

条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）

＊非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得

問 1100万円から1140万円となる。

補正予算

令和4年度大井町一般会計補正予算（第1号）（賛成全員）

＊歳入については、子育て世帯生活支援特別給付事業費補助金及び感染症対策事業に対する経費などの国庫支出金等を増額計上し、歳出は、子育て世帯への臨時特別給付金事業や新型コロナウイルス感染症緊急対策事業経費及び歳入に計上した収入を財源とする事業などを計上するもの。

問 課税限度額の引き上げにより影響のある世帯数は。
答 26世帯から改正後は21世帯となる。

問 課税限度額の引き上げにより影響のある世帯数は。
答 26世帯から改正後は21世帯となる。

問 課税限度額の引き上げにより影響のある世帯数は。
答 26世帯から改正後は21世帯となる。

問 限度額に達する収入額は。
答 工事費200万の費用の内訳は。

問 110万円が設置工事費（含カメラ代40万円）、その他90万円がネットワーク使用料・ホームページ・環境設定料である。

問 3歳から18歳までに図書カード配布の理由は。
答 学習環境も戻りつつあり、学習に活用してもらうためである。

問 窓口キャッシュレス決済導入は、どの窓口に設置するのか。
答 町民課、生涯学習センター等4か所に設置予定。

問 総合体育館柔剣道場空調設備設置工事は、いつ頃の予定か。
答 エアコン3台設置予定であるが、熱中症予防としても早急に設置する。

問 決済手段はどのようなものか。
答 現在考えているのは交通系の電子マネー、QRコード、クレジットカード決済など。今年度中に開始させたい。

問 プレミアム商品券についてプレミアム率。
答 今年度も20%にて対応する。

問 学校給食補助事業費は。
答 物価高騰による食料費の補助である。

問 給食費の値上げはあるのか。
答 今年度については値上げせず、この予算で対応していく。

問 子育て世帯生活支援特別給付金事業費の内訳は。
答 5万円を82件に給付予定である。

令和4年度大井町水道事業会計補正予算（第1号）（賛成全員）

＊新型コロナウイルス感染症対策により水道料基本料金の減免を行い、減収分は一般会計補助金として計上するもの。



定点カメラが設置される
おおいゆめの里

問 水道料基本料金の減免はいつから始まる

第2回 定例会

改修工事が行われる相和
小学校校舎及び体育館



＊令和3年度繰り越し
事業である相和小学校
及び体育館改修工事の
契約締結について、指
名競争入札の結果、松
浦建設株式会社が落札

相和小学校校舎・体育
館改修工事（令和3年
度繰越事業）

（賛成全員）

工事請負契約の締結

の
か。
答 甲地区は7月、乙
地区は6月からで4か
月間を予定。

したため、承認を求め
るもの。

問 ここ最近、工事請
負契約の変更等がある
が、しっかりチェック
出来ているのか。

答 しつかりと二重チ
ェックを行っている。

問 建築資材高騰等は
対応できるのか。

答 低入札調査時に確
認している。今のところ
問題は無い。しかし、
物価が急激に上昇した
際は再度協議する。

第2浄水場動力盤更新
工事

（賛成全員）

＊第2浄水場動力盤更
新工事の契約締結につ
いて、指名競争入札の
結果、荏原商事株式会
社が落札したため、承
認を求めるもの。

問 機械の接続に汎用
性はあるのか。

答 他社での接続も可
能である。

物品購入契約の締結

職員用パソコン購入

（賛成全員）

＊パソコン関連機器に
関し、神奈川県町村情
報システム共同事業組
合が入札執行した「パ
ソコン等共同調達」に
おける落札事業者の都
築電気株式会社に対し
見積りを徴した結果、
当該事業者が落札した
ため、承認を求めるも
の。

問 市場価格は調査し
たのか。

答 調査した中で共同
購入を決定した。

問 リース契約は検討
したか。

答 総合的に勘案して
購入に至った。

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。

定例会・ 臨時会の別	議案 番号	議 案 名	議員名（議席順） と審議結果														審 議 結 果
			大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 武夫	鈴木 磯美	田中 正彦	田村 俊二	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子		
第2回定例会	23	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	24	専決処分の承認について（大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	25	令和4年度大井町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	26	令和4年度大井町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	27	工事請負契約の締結について（相和小学校校舎・体育館改修工事（令和3年度繰越事業））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	28	工事請負契約の締結について（第2浄水場動力盤更新工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	29	物品購入契約の締結について（職員用パソコン購入）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		

議会報告・意見交換会



町民の皆様は日頃の議会活動を知っていただくとともに、皆様からのご意見やご提言をお伺いし、議会審議への活用や議会運営の改善を図るため、議会報告・意見交換会を開催しました。今回も多くの方のご来場いただきましたので、その結果をお知らせします。

金手自治会館
令和4年5月9日(月)

問 議会だよりが縦書きは読みづらい。変更の検討は。
答 広報分科会で検討していきたい。

問 議員定数の削減が否決されたが、議論の内容は。少数にして報酬を上乘せしたらどうか。
答 議会の活性化、行政のチェック機能としての人数が必要との考えもある。

問 ハザードマップに富士山の噴火の影響は反映されないのか。
答 今年度見直し予定である地域防災計画の推移を見守りたい。

問 土地用途の変更により、便利の良い場所に宅地を造成したらどうか。
答 近年の人口減少を背景として、線引きの

見直しは難しいと思われる。

上大井自治会館
令和4年5月10日(火)

問 障がい者就労を、なぜ今取り上げたのか。
答 障がい者就労について、町全体でフォローする体制が必要である。継続して啓発していく。

問 特色ある学校づくりとは。
答 相和小は小規模特認校として、少人数でICTに力を入れており、全町を対象に児童を受け入れている。

問 議会だよりは、一部の情報しか表現されていない。映像配信等を利用して町民に議会をより理解してもらうのが良い。
答 ネット配信は考えるべきであり、費用等を勘案して検討していきたい。

問 政策提言に対して、その後のフォローが必要ではないか。
答 まだ提出したばかりなので今後、注視していきたい。

問 高齢化でゴミ出しに苦労している方もいる。高齢者に配慮した施策も必要である。
答 社協で生活応援隊という制度があるので活用してほしい。

問 高齡化でゴミ出しに苦労している方もいる。高齢者に配慮した施策も必要である。
答 社協で生活応援隊という制度があるので活用してほしい。

下山田自治会館
令和4年5月11日(水)

問 町道391号について、どのような審議がされたのか。
答 議員の一般質問を受けて、町側が住民の意見を勘案し判断をした。

問 5、6年前、四季の里の駐車場の改善を要望したが、未だに報告がない。
答 要望は町側に報告しているが、その後調

問 5、6年前、四季の里の駐車場の改善を要望したが、未だに報告がない。
答 要望は町側に報告しているが、その後調

査・報告していなかった。議会として真摯に受け止めたい。

有害鳥獣のワナの

確認について、費用負担の改善は。配布されたICT機器は、電波が届かないが。

ICT機器を30台購入し配布している。電波状況については担当課に伝える。

柳地区の避難所は相和小学校であるが、自治会館にその機能を持たせられないか。

自治会館は、一時避難場所として位置付けられている。

根岸下自治会館
令和4年5月12日(木)

議会専用のSNS活用が必要では。

今後はLINE等の活用も視野に入れる。

創価学会脇の水路の歩道化の進捗状況は。

今年度予算に工事費が計上され、区間は国道255号から小児科前まで100m弱。10月に発注予定。

議長諮問の予算、決算審議のあり方検討とは。

近隣市町を参考に、より深く審議するための方角性を定めたい。

山形県遊佐町では、子ども議会に予算を付けている。このような取組みを導入してはどうか。

中学生議会が2年間で中止しており、今年度は学校と調整している。議場見学会は8月頃開催予定である。

気候非常事態宣言について、詳しく聞きたい。

町と議会で共同宣言を行った。今後は町の施策に注目していく。

議会報告会で 受けた町への要望

次の事項について要望を受けましたので、町に對し、申し入れを行いました。詳細は、町議会のホームページをご参照ください。

○おいゆめバスについて
おいゆめバスは、金手地区に停留場がなく利用できる。また、70歳以上は無料にしてほしい。

○町道の危険箇所について
県道78号線の松田入口交差点から町道7号線に入る道幅が狭く、車両の行き違いが出来ない時もあり、危険なので改善してほしい。

○町からの配付物について
町のゴミ収集カレン

ダーが集住宅に届いていないことから、集積所が散乱している。自治会加入を問わず広報などの必要なものは全戸配付するべき。

○デジタル化について
自治会館でも、町から発信される情報を確認できるパソコン、ネットワーク環境の整備をするべきであり、そのための予算措置をお願いしたい。

・申請書のDX化を推進してほしい。
・子育て支援の一環として、病院探しが公式LINE等で行えるような仕組みも必要である。

○耕作放棄地対策について
耕作放棄により農地が荒れ、車両が通れない場所がある。農道の整備など営農環境を改善してほしい。

○有害鳥獣対策について
老朽化または破損した「くくり罠」の再利用を検討してほしい。

○自動車運転免許の返納について
高齢者が安心して自動車運転免許を返納できるよう、他の交通手段に対する補助金等の支援がほしい。

○農業体験施設「四季の里」について
四季の里の駐車場はイベントの際、砂埃が舞うので改善してほしい。また、駐車線を引き直してほしい。



議長、広報広聴常任委員会より町長へ申し入れを行いました。

おおいゆめバスの

高齢者・障がい者への割引を

答 障がい者割引については適用する
高齢者については検討していく



清水 亜樹 議員

問 おおいゆめバスが5月から本格運行され、今回から運賃200円となったが、高齢者・障がい者に対しての割引をした方がよいと考えるが。

課長 障がい者の割引は、民間事業者でも行われていることから、先月の公共交通会議の中でも検討がされ、手



本格運行されている巡回バス
おおいゆめバス

帳提示で半額とする申請をしており、適用をしていきたい。高齢者の割引については、今後高齢者施策などの中で検討していきたいと考えている。

問 高校や大学等に通う学生について、相和地区から、朝、新松田駅に行く便がないとの声があるが、対応の考えは。

課長 交通結節点として上大井駅でJRに乗り継ぐなどし、通学して頂くというのが現状である。

課長 車中泊やテント泊といった避難の方が想像以上に多くなることが想定される。今後物資の調達など、計画にどのよう位置づけるか大きな課題であるが、計画に役立てていきたい。

行政の情報発信源として広報を

全戸配布する考えは

答 方法を勘案し、調査研究していく



和田 紀昭 議員

問 広報の配布を自治会にお願いしている。自治会のメリットと考えることもできるが、新たな施策、助成金の情報など大事な発信源となっている。全戸配布が必要と考えるが町の考えは。

課長 自治会長会議にて、自治会活動ハンドブックを制作、配布している。その中で他の自治体の参考例や人員確保、加入促進などの対応策を記載して対応している。

問 大規模災害時、避難所に支援物資を届け

問 高齢で組長や配りものができない方がご近所に迷惑をかけるので退会を希望したいとの声を聞く。そういった方の相談にのるよう



広報ポスティング（イメージ）

たとき、自治会に協力をお願いすることになると思う。その取り決めや、訓練が必要と考えるが。

課長 避難所内での配布については避難所で構成された避難所運営委員会と避難されている方々と協力して行う。

問 自治会担当職員制度はコロナ禍でも機能しているのか。また電話等で自治会にフォローできているのか。

課長 4月の自治会長会議で職員の紹介はしている。必ずしも担当職員が窓口ではなく選択肢のひとつとして考えている。

問 昨年7月に熱海での土石流をはじめ本町でも豪雨による被害が発生したが、町の対応状況は。

課長 被害については町をあげて対応し、できる範囲で再発防止策を講じている。

問 2年前の台風19号では、全国的に被害が発生し、本町でも混乱



「大井町国土強靱化地域計画」

の目指すものは

答 想定される事態に対応できる町づくりを町民と共に取り組んでいく

岡田 幸二 議員



ハザードマップに追加されたスマホ用アプリ (Avenza)

の中、初めて避難所開設をしたが、結果的に遅かったという反省があるが、避難所開設の考え方の見直しは。

町長 情報を早めに収集し、空振りも覚悟するという気持ちで臨んでいきたい。

問 今回配布したハザードマップの配布方法及び町民の活用方法は。

課長 自治会員への配布とし、それ以外の方へは、ホームページや役場等で入手して頂くことになる。自主防災をはじめ町民への見方

の説明会を予定している。また、希望により出前講座を実施し周知していく。

問 大井中央公園や防災倉庫・太陽光発電設備・マンホールトイレ・かまどベンチ等の完成に伴う大井町地域防災計画の見直しの内容は。

課長 町民の一時避難場所として、また仮設住宅等の建設も考えられるがどのように活用するか、今年度到大井町地域防災計画を見直す中で明文化していく。

無電柱化に対する町の考えは

答 有用性は理解しているが、町道の無電柱化の予定はない



鈴木 磯美 議員

認したところ道路区域内への整備計画は無いと回答を得た。

【町のイベント開催について】

問 町民体育大会の開催方法を見直す考えは。

町長 本年度は、ウィズコロナで開催し、次年度以降は引き続き検討する。

問 大井よさこいひょうたん祭に参加料を加える考えは。

町長 参加料を含め、祭りの在り方や開催方法について検討する。

問 町が主催する各種イベント内容を再考する考えは。

町長 各イベントに応

問 「都市計画道路和田河原・開成・大井線」を無電柱化にする考えは。

町長 電線管理者に確

は。



無電柱化に取組む予定の
県道711号線
(緊急輸送道路)

じて内容の再考についても検討する。

【急傾斜地崩壊対策事業について】

問 指定方法は。

町長 土地所有者が町に要望書を提出し、県と合同で現地調査して指定する。

問 国や県に対し指定基準の見直しを要望する考えは。

町長 弾力的な運用ができるよう県と調整していく。

幼稚園等の将来像は費用対効果を見据え責任を持って取組むべきでは

答 政治生命をかけてしっかりとやっていきたい



田村 俊二 議員

問 幼稚園、保育所の園児数、定員充足率は、
町長 3園の定員は、580人で受け入れ160人、充足率27.6%である。保育所の定員は、80人で受入76人、充足率95%である。
問 幼稚園の充足率27、

6%は、適正か。
課長 今年度の受入人数から考えれば1園あれば十分という話になる。

問 公立幼稚園・保育所と民設民営の場合のコスト比較は。
町長 令和4年度の予算ベースで160人の園児に対し、町の負担額は1億2900万円、民設民営の場合、国の補助金等があり、県の補助金等があり、町の負担額は4000万円程度と想定される。

大井保育園は、定員80人で、町負担額は9220万円。民間保育所等は、園児181人分に対し国・県の補助金等で1億7830万円、委託費約2億7110万円から差し引くと町負担額は9280万円である。

問 認定こども園開設に伴う公立幼稚園・保育所の将来像は。
町長 大井保育園は、民間保育施設を補完す

る施設としての役割を、相和幼稚園は、アンケート結果の分析を基に将来像について検討していきたい。

【公用車のエコカーへの推進について】
問 公用車の次世代自動車への転換状況と導入計画は。
町長 35台の公用車中、軽乗用の電気自動車1台他ハイブリッド車2台を導入している。導入計画は無いが今後計画的に導入していきたい。

再構築が求められる幼児施設



再構築が求められる幼児施設

ファミリーサポート利用者への

減免、助成の考えは

答 現状を把握した上で、検討をしていく



重田 有紀 議員

検討をしていく

【給食減免要件見直し】
問 保育料5千円を8千円へ引き上げた。コロナ禍という厳しい状況を踏まえ、減免要件の見直しは行ったか。
課長 近隣市町を見ても標準的。過分な減免手厚い減免部分をどうするか検討している。

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す

【給食費減免と質の担保】
問 給食費減免は、実施の予定はない。
町長 物価高騰に対応す



利用するとき「ファミリーサポート」ができます

る策は。

町長 地方創生臨時交付金を活用し物価高騰分の補填をする。

問 給食費現状維持はありがたいが、減免を受けられない困窮世帯が実在している。有期限でも減免に踏み込むべきでは。
課長 長い目で見ればあるかもしれないが、判例では、義務教育中の給食費は本来国が負担すべきとしている。支援が十分でない世帯があることは認識している。

【Wi-Fi環境整備】
問 避難所のWi-Fi環境整備は。
課長 平時でも有効活用でき、最低限災害時でも有効な整備は必要。

【Wi-Fi環境整備】
問 避難所のWi-Fi環境整備は。
課長 平時でも有効活用でき、最低限災害時でも有効な整備は必要。

問 これまでの公約の進捗状況は。

町長 共創、協働のまちづくりに関して令和元年度に自治会担当職員制度を導入し、子育て環境のさらなる充実化、働きながら子育てできる環境づくり、見守りながら子育てできる環境整備にも取り組んだ。令和2年度には協

小田町長の今後の姿勢について伺う

答 次期も挑戦して
全身全霊で取組む

黒岩 陣太郎 議員



働推進課を設置したなかで事業に取り組んだ。第6次総合計画で掲げた事業も進行中で今後も取組んでいく。

問 次期町長選挙に挑戦するつもりはあるか。

町長 いろいろな課題があるなかで、しっかりと責任を取る覚悟で次期町長選に立候補したい。

問 【本町におけるデジタル田園都市構想について】

問 デジタル田園都市国家構想推進交付金タ



出馬表明をした小田町長の議場席

イプーが採択されたが内容は。

町長 おおいゆめの里に定点カメラを設置しライブ映像を町内外に広く発信することで来場者のニーズに対応した魅力の高い観光資源にする。

問 自治体の行政手続きのオンライン化は。

町長 本町では大井町DX推進委員会を設置し、書かない手続き、待たない窓口をテーマに掲げその取組みについて議論をはじめた。

学校保健について問う

答 学校での衛生管理の徹底に努める



山崎 真弘 議員

問 熱中症における対策は。

教育長 「大井町立学校熱中症ガイドライン」に沿って各自水筒の持参により、学習中の適切な水分補給の実施や換気とエアコン併用による室内温度の上昇を防ぐ取組みを行っている。また、グラウンド等に熱中症指数計を設置し、指数に応じた活動の制限に努めている。体育等の運動時におけるマスク着用についても国の指針に基づいて、活動内容に応

じてマスクを外しても良い旨を周知している。

問 給食センター及び学校での衛生管理は。

教育長 子どもたちが食する大事な給食であり、「学校給食衛生自主管理マニュアル」を基に異物混入や食中毒等の様々な問題に対する予防についても徹底している。



熱中症指数計

【少子化・子育て対策について】

問 少子化・子育て支援対策は。

町長 町としてきめ細やかな対策に取り組んでいる。具体的には、移住・定住対策、妊娠期からの相談事業、18歳までの子ども医療費助成、妊産婦のタクシー利用助成等。引き続き子育て世代が住みやすい環境づくりにつながる施策を展開していく。



大井町立学校給食センター

ゆめバスのシルバーパス導入等、
高齢者の負担軽減施策は
定期券等の発行について、
慎重に協議していく

大石 舞 議員



問 ゆめバスの1か月の利用状況は。
町長 1085人。小中学生の利用が伸びた。
問 利用料200円の根拠は。将来的に値下げの可能性は。
課長 令和2・3年度のアンケート調査で200円が最多だった。利用者が増えれば、ゆ

めくは下げる可能性もある。
問 悠々バスからゆめバスになり、公共交通機関において高齢者に特化した施策はなかった。高齢者は交通弱者として最多である。シルバーパス導入等、補助の考えは。
課長 数多く利用される方には、定期券や現行の回数券が考えられる。
問 バス停以外での乗車（フリー乗降）は。
町長 運行開始時に許可がおりなかった。相和地区等は、松田警察と協議を継続したい。

【待機児童対策とおむつ持ち帰り】
問 今年度の待機児童数と待機児童対策は。
町長 4月1日時点で4名。認定こども園開所や栄光愛児園の改築による定員増で、待機児童ゼロを見込む。
問 同居家族の就労証
明書の提出年齢引き下げと、時代に合った保育内容や申請方法に、率先して取組んでほしい。
町長 労働環境や社会情勢を踏まえると、引き下げは難しい。
問 使用済み紙おむつの園での一括回収・廃棄は。
町長 保護者の子育てに対する第一義的責任や、排泄物の確認による健康状態把握もある。処理費用や収納場所確保もあり、実施の考えはない。



富士急行バスによる運行が開始した、おおいゆめバス

通称「道路族」について

町に相談はあったか

答 迷惑を受けているので規制をかけられないかとの相談があった

牧野 一仁 議員



問 袋小路等で騒ぐ道路族について町の認識は。
町長 自宅前やその周辺の道路上で遊ぶ子どもとそれを注意しない保護者のことを指すものであると認識している。
問 行政が扱う問題ではないと思うが、相談はあったか。
課長 相談はあった。規制等を行うことが出来ない問題であり、地域の課題として認識され、近隣住民の相互理解、共通認識により円

滑に解決できることを期待する。また、子どもたちが「おおい中央公園」等を利用することにも期待する。

【2050年ゼロカーボンシティ宣言の具体策について問う】
問 地域再生エネルギー導入検討調査の内容は。

町長 再生可能エネルギーの生産量を可能な限り拡大させて行く施策策定を行うため、まずは現状把握から行い、CO2排出量、再生可能エネルギーの能力調査・将来目標、脱炭素実現シナリオ、再生可能エネルギーの普及促進のビジネスモデル検討などを行う。
問 3年ぶりの環境展が計画されているが、環境問題は町、町民、事業者が一体とならないと成功しない。町民を含めた実行委員会方式にしたらどうか。
課長 担当課とエコ・タウンおおい推進協議会で検討している。



袋小路で遊ぶ道路族

問 新生児聴覚検査の費用を公費助成する考えは。

町長 具体的な助成内容を検討し早期に実施できるように対応する。

問 弱視の発見に役立つ「フォトスクリーナー」の導入は。

課長 弱視を発見する確率が確実に上がるということであれば実態を把握した中で前向き

新生児聴覚検査費用の 公費助成は

答 早期に実施できるよう
対応



伊藤 奈穂子 議員

に検討したい。

【乳がん検診について】

問 乳がん検診の受診率アップの対策として対象の方に個別勧奨すべきでは。

課長 個別通知が有効性はあると認識している。今後、検討していきたい。

問 30代の方に向け、乳がん検診の超音波検査の導入は。

課長 若い方の発症例が数例あることから1人も取り残さないためにも導入については十分検討していきたい。

【健康寿命を延ばす取り組み】

問 インセンティブ制



神奈川県ホームページより

度を導入することにより未病センターの利用実績があがるのでは。

課長 現在、県の「マイME-BYOカルテ」を活用し企業と連携するなど、ポイント制で付加価値をつけた形で調整、話し合っている。

問 トレーニングルームにインストラクターの配置は。

課長 自主トレーニングガイドシステムを利用してほしい。

問 インクルーシブ遊具について見解は。

町長 今後、公園の再整備等に合わせ利用者などの声を聞き庁関係所管課等と緊密に連携し検討したい。



大井町議会のホームページでは、一般質問の内容や委員会での活動等がご覧いただけます。

大井町議会

検索

お詫びと訂正

議会だより第211号（P 9 表中）に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。ご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

重田有紀議員の列、第1回臨時会及び第2回臨時会の行

（誤）欠 （正）○

牧野一仁議員の列、第1回定例会の議案番号10の行

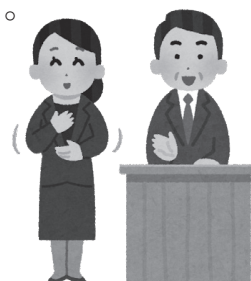
（誤）× （正）○

傍聴における手話通訳派遣について

町議会では、耳の不自由な方が会議を傍聴する際、希望により手話通訳者を配置します。

制度の概要は次のとおりです。

- 手話通訳を行う会議
公開としている議会の本会議等（令和4年第3回定例会から実施）
- 対象者
町内在住の聴覚障がい者
- 申込み



手話通訳を希望する方は、原則として傍聴希望日の7日前（その日が閉庁日に当たるときは、その前日）までに、議会事務局へお申込みください。

※申込書その他詳細については、ホームページを参照又は直接お問い合わせください。

● 町のこの人あの人 ●

話を聞くことが楽しい
心に寄り添う
「コミュニケーション」



新宿地区
はら きみこ さん
原 仁子

傾聴ボランティア「傾聴あしがら」の会長、原仁子さんを紹介します。

●原さんは東京都出身。結婚して住み始めた浜松市では、大学で学んだ心理学を活かし、児童心理司や生活指導員等を定年までの約30年間勤められました。仕事一段落したこともあり、大井町に住んでいた娘夫婦に呼ばれ移住されてきました。

●以前からボランティアに関心があり、大井町に来て自分にできる

傾聴ボランティアが何か探していました。そんな時、社協主催の「傾聴ボランティア講座」が目にとまり、ボランティアのきっかけになると思い参加されました。程なく傾聴ボランティアを始められた原さんは、人の話を聞くのが好きで、楽しく活動を重ねてこられたそうです。

●当初は原さんを含む3人で活動していた傾

聴ボランティアですが、認知症予防や被災者の心をケアする手法の1つとして傾聴の必要性が増していることから関心が高まり、2016年に開催された社協主催の「傾聴入門講座」を受講した方たちを中心に2017年4月に「傾聴あしがら」が発足されました。

●「傾聴あしがら」での活動は主に、毎月、定例会と地域の介護施設への訪問です。定例会では傾聴専門の講師に来て頂きワークショップや、スキルのアップのための勉強会を行っています。が、コロナ禍において活動を休止せざるを得ませんでした。

●状況を見ながらですが昨年から定例会を再開し、座学による勉強会や、メンバー同士の意見交換を重ねて見識を深めているとのこと。今のところ介護施設



傾聴あしがら活動風景

【議会傍聴についてのお願い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、傍聴席は間隔を空けて使用するため、傍聴人数に限りがあります。また、次の注意事項にご協力ください。

- ・体調がすぐれない方、37.5度以上の熱がある方は、傍聴を控えてください。
- ・受付時には手指の消毒をし、マスクの着用にご協力ください。

編集後記

6月の第2回定例会において国の地方創生臨時交付金を活用した補正予算が可決されました。町民の皆様の生活に資することを期待します。

5月には広聴分科会として3年ぶりとなる議会報告会を開催することができました。ご来場くださいました皆様に感謝申しあげると共に、いただいたご意見、ご要望は今後の議会、委員会活動に活かして参ります。

さて、当委員会の任期もあと僅かとなりましたが、議会だよりの役割が果たせるようしっかりと取り組んで参ります。

伊藤 奈穂子

広報広聴常任委員会

(広報分科会)

委員長 伊藤奈穂子

副委員長 清水 亜樹

委員 鈴木 磯美

委員 山崎 真弘

委員 和田 紀昭

委員 黒岩陣太郎

委員 大石 舞

第3回定例会開催

9月13日(火) 午前9時

問合せ先：議会事務局

☎ 85 - 5000 FAX 83 - 3936